

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	うさぎのみみ		
○保護者評価実施期間	令和6年12月10日		～ 令和7年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和6年12月10日		～ 令和7年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	手厚い体制で支援することができる	年齢や医療的ケアの状況が異なるが、看護師や保育士が1対1で接することができ、状況把握をしっかりと行うことができる。	基本は担当制であるが、担当以外のスタッフも関わり、多角的に利用者の状況を見極め、支援内容がよりよいものとなるようにしていく。
2	一人一人のペースで過ごすことができる	それぞれ注入や摂食訓練、リハビリ訓練の時間が異なる。また午睡をする、しない子どももいるため、個々の状況に合わせて過ごしていただいている。	看護師と保育士が生活リズムや活動内容を話し合い、成長度合いに合わせたきめ細やかなプログラムを提供する。
3	経験豊かな専門スタッフがいる	看護師や理学療法士、言語聴覚士は重症心身障害児のケアを長年行ってきたベテランが勤務している。	現在よりもスタッフの人数を増やし、さらに充実したケアができるように体制を整える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動の時間がなかなか確保できないこと	重症心身障害児のお子さんにご利用いただいておりますが、ケアの恐ろしさやタイミングが異なるため、一緒に活動できる時間が限られています。	スキンシップなど短時間でもできるようなプログラムを用意し、お友達を意識する時間を確保していく。
2	地域の方々に対する事業所アピールが弱い	西東京市在住の方のご利用が少ない。うさぎのみみを知らない方も多いことが分かり、ご利用いただくための活動の工夫が必要と強く感じた。	地域の行事などに積極的に参加する。また、関係機関との連携を今以上に強化していく。
3	支援のバリエーションが少ない	機能訓練や医療的ケアの時間が多く、支援の時間が限られている。そのためバリエーションが少なく、繰り返しの支援が多めである。	短時間でできる内容や、簡単にできる創作などを考える。あまり内容に固執せず、さまざまな角度から支援できるよう、スタッフで意見を出し合っていきたい。